

## 平成20年度 事業報告書

### はじめに

福岡市への観光客の入り込みについては、昨春からの23回に及ぶ大型クルーズ船の入港により、多くの中国人観光客が福岡を訪れたところですが、一方、秋口からの米国のサブプライムローンに端を発した世界経済の低迷により、観光産業は一気に収縮し、特に韓国からの観光客が大幅に減少するなど、大きな影響が出ているところです。

コンベンションにつきましては、特に国際コンベンションの開催が、平成20年度の発表で引き続き上位にランクされ、特に大学別ランキングでは、九州大学が全国1位となっており、当財団を中心にした誘致活動の成果が現れてきたものと考えています。

平成20年度は、特に中国からの観光客誘致拡大や、コンベンション支援メニューの拡充などとともに、引き続き国内外への観光情報の発信に努めました。また、海外からの観光客等の受入環境のソフト面を担うウェルカム・サポーター制度や学会の地元開催を支援するコンベンションサポート制度を新たに創設するなど、「おもてなしの心」が溢れる集客交流都市として、下記事業に積極的に取り組み、福岡の発展と地域経済の活性化に努めてまいりました。

## 1 観光客の誘致

### (1) 観光プロモーション

2008年8月の北京オリンピックや2010年の上海万博等の世界的なイベントの開催、ソウル-釜山間のKTXの専用軌道化や九州新幹線の全線開通の時期等を視野に入れ、戦略的な事業実施に積極的に取り組んだ。

国内では首都圏などに重点を置いたプロモーションに努めるとともに、海外においては、アジアの姉妹都市等との関係強化を図りながら、集客交流の拡大に努めた。

#### ア 姉妹協会等との交流

姉妹関係等を締結している釜山広域市や、シンガポールからの観光客誘致につなげるため、釜山広域市観光協会、シンガポール政府観光局を訪問し、姉妹関係強化を図った。また、中国南部からの誘致促進を図るため、広州市旅遊局と観光協力協定を締結した。

○ 広州市旅遊局との観光協力協定締結 平成20年4月2日

#### イ 福岡・釜山観光誘致共同事業

福岡市と釜山広域市を1つの観光エリアとして、共同で観光客の誘致活動を展開するとともに、相互交流を促進し観光の活性化を図った。

○ 共同観光説明会の開催 中国北京市：平成20年11月10日

#### ウ 旅行者・記者招待事業

中国（広州市）の旅行者・記者等のキーパーソンを招聘（平成21年2月10日～2月15日）し、マリンワールド、九州国立博物館など、モデルコースの体験ツアーを実施した。

#### エ プロモーション協議会事業

国内外からの観光客誘致に向けて、福岡観光プロモーション協議会事業を積極的に推進した。（同協議会は、宿泊・観光施設、旅行・交通関係企業、観光団体等20団体で構成）

○ 国内誘致宣伝事業

修学旅行誘致宣伝隊の派遣

平成 21 年 2 月 20 日～23 日 東京都、茨城県、栃木県、群馬県

○ 海外誘致宣伝事業

中国北京市、上海市、香港特別行政区への観光訪問団の派遣、釜山、慶畿（韓国）、広州の国際観光展出展及び国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業を活用した海外の旅  
行業者や教育関係者などのキーパーソン招聘事業（広州市、シンガポール）を実施した。

オ 博多祇園山笠宣伝隊派遣事業

国指定重要無形文化財「博多祇園山笠」を市内外へ広く宣伝し、山笠期間中（7 月 1 日～15  
日）の観光客の誘致促進に努めた。

① 市内宣伝 福岡市 平成 20 年 6 月 5 日 （宣伝隊 40 名）

② 市外宣伝 新潟市 平成 20 年 6 月 10 日、11 日（宣伝隊 34 名）

## （2）他団体との連携

九州観光推進機構や九州各都市、福岡都市圏、久留米、柳川などの観光協会などとの連携を  
強化しながら、エリア間・都市間の回遊性の向上に努めた。

○ 観光関係団体連携

九州観光推進機構、九州主要都市観光協会連絡協議会、西九州国際観光ルート協議会、  
福岡地区観光協議会など広域観光関係団体と総会、研修会を通して情報交換に努めるとも  
に、国のビジット・ジャパン・キャンペーン招聘事業を連携して実施した。

## 2 コンベンションの誘致及び支援

### （1）コンベンションの誘致

ビューローが所有する約 5,000 件のデータベースをもとに、学会・大会の事務局やキーパー  
ソンなどに対しセールス活動を行った。

ア コンベンションの誘致活動

市内及び近隣の大学等を訪問し、情報収集活動やセールス活動を行うとともに、福岡市及び  
（財）福岡コンベンションセンターと共同で、年 2 回首都圏等の学会・大会の事務局やキーパー  
ソン等に対し福岡開催のためのセールス活動を実施した。

○ 誘致件数：国内 67 件、国際 22 件、計 89 件

イ 国際ミーティング・エキスポ（IME）参加

国土交通省、JNTO、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）が主催  
する、国内で唯一のコンベンション大規模商談会である IME に出展し、コンベンションの誘  
致拡大を図った。

○ IME の概要

・時期：平成 20 年 12 月 17 日～18 日

・会場：東京国際フォーラム

・商談件数：約 200 件

## (2) コンベンションの支援

国内有数のおもてなし都市福岡を実現するため、市内で開催されるコンベンションに対し、事前準備段階から福岡開催に至るまで、様々な支援・サービスを実施した。

### ア 国際コンベンション開催助成金

福岡市において開催される一定規模以上の国際コンベンションに対し、その開催に係る資金の一部を助成した。

- 助成件数：World Call 2008ほか 計6件

### イ コンベンションサポート制度（新規）

学会の地元開催を支援するコンベンションサポート制度を創設し、平成20年12月1日より施行した。

- 20年度コンベンション開催相談件数 26件

### ウ その他のコンベンション開催支援

- 事前準備段階での支援

会場視察の案内、DVDやパンフレットなど福岡紹介ツールの提供、学会・大会開催や市民公開講座の広報支援等

- 大会参加者への支援

観光ガイドブック、飲食店ガイドなどの提供等

## (3) 他団体との連携

コンベンション関係団体との関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集や共同誘致活動など効果的な事業実施につなげるため、関係機関との連携を推進した。

### ① JCCBビューロー部会(平成7年設立)

国土交通省、JNTO、コンベンション推進機関等で構成されており、年2回の会議に参加し、コンベンション推進団体が抱えている共通の課題等について、講演やテーマを決めての議論、情報交換等を行った。

- ・第1回5月（下関）、第2回10月（北九州）

### ② 九州地区コンベンション推進団体連絡会

九州地区のコンベンション推進団体10団体で構成されており、年2回の会議に参加し、各団体が抱えている課題等を提示のうえ情報収集及び意見交換等を行った。

- ・11月総会（長崎）、2月実務者（沖縄）

## (4) インセンティブツアーの誘致

インセンティブツアー（企業が成績優秀社員を海外に招待する報奨旅行）は、ツアーの規模が大きくグレードも高いという特徴があり、地元経済に大きな波及効果をもたらす。このため、コンベンションに続くターゲットとして誘致活動を推進した。

### ア インセンティブツアー誘致活動

韓国及び台湾において、企業・旅行社を直接訪問しセールス活動を実施するとともに、韓国ではJNTOが主催する商談会にも参加した。

- インセンティブツアー誘致活動

・誘致実績：韓国2件 約300名、台湾3件 約900名、中国3件（クルーズ） 約100名  
イ インセンティブツアー歓迎事業

福岡市内での宿泊が伴う一定規模以上のインセンティブツアーに対しては、空港での出迎えや歓迎式典を開催するとともに、ウェルカムカード・観光ガイドブックの提供などを行った。

○ 主な実績：空港での出迎え及び歓迎式典7件、歓迎挨拶5件、観光ガイドブック等の提供9件等

### 3 福岡の魅力向上

#### (1) 観光案内・観光客の利便性向上

来福者のニーズの把握に努めるとともに、観光案内業務のスキルアップを図りながら、来福者が快適に過ごせる受入環境の整備に努めた。

ア ウォーキングマップの作成・販売

観光客に都心部を気軽に散策していただくため、既作成の観光案内マップを販売した。

イ 観光パンフレット作成

主要な観光施設やマップ、祭り等の情報を掲載した観光パンフレットを作成し、観光案内所等で配布した。

○ 日本語・英語・韓国語・中国(簡体字)・台湾(繁体字)の5カ国版を作成

ウ 観光案内所の管理運営

来福者への観光案内のため、JR博多駅構内の「博多駅総合案内所」及び西鉄ソラリアプラザ1階ライオン広場内に設置している「観光プラザ天神」の管理運営を行った。

エ 観光サービス業従事者研修会

観光サービス業の従事者を対象に観光客へのホスピタリティと観光知識の向上を目的に研修会を開催した。

○ 開催日 平成21年3月3日 参加者 69名

平成21年3月4日 参加者 60名

○ 会場 博多町家ふるさと館集合

○ 参加者 福岡市タクシー協会、福岡地区観光協議会、福岡市ホテル旅館協会、福岡市観光案内ボランティアなど

○ 内容 ぐりーんバスを利用した観光地研修

博多町家ふるさと館 ～ 博多部散策 ～ ぐりーん乗車 ～ 福岡市防災センター見学・体験

オ 「トマールフクオカ」の発行

来福者へのサービスを充実するため、イベントやグルメなど、最新の福岡の情報を掲載した情報紙「トマールフクオカ」を年6回、偶数月に各3万部発行した。

カ ウェルカム・サポーターの運営（新規）

福岡市民、学生、都市圏で学ぶ留学生・就学生等で構成するウェルカム・サポーター制度を平成20年6月27日に創設し、コンベンション支援や観光案内業務など、福岡市を訪れる国内外の観光客などに対して、サービスの向上と市民と一体となったおもてなしを行った。

○ 登録数 62名（平成21年3月31日現在、留学生等の外国人 48名、日本人 14名）

## (2) 魅力増進

福岡市の有する都市観光の魅力や歴史・文化・祭りなどの観光資源を十分に活用した魅力づくりを推進した。

### ア 博多どんたく共催

博多どんたくの主催団体（福岡市・福岡商工会議所・当財団）として運営に参画するとともに、行事期間中の観光案内業務及びどんたく広場に設置する観光棧敷席の運営・管理を行った。

### イ 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

博多祇園山笠は、福岡市の活性化並びに観光客の集客効果が極めて大きいことから、観光客誘致事業の一環として助成を行った。

また、7月13日に開催される集団山見せでは、博多祇園山笠振興会・福岡市と共催し、行事の運営を行った。

### ウ 各行事助成金

伝統芸能の振興、並びに本市の魅力づくりを進めるため、各種イベントに対し助成を行った。

- 博多座船乗り込み、博多伝統芸能振興会、おおほり祭り、博多おくんち、ふくこい祭り、博多仁和加等

### エ 観光ボランティアの運営

福岡市民並びに本市を訪れる観光客等に「福岡市観光案内ボランティア」を派遣し、福岡の歴史や魅力を伝えることにより、おもてなしの心に満ちた国際集客文化都市づくりを推進した。

また、新規に観光案内ボランティアの募集を行い、42名が新たに登録した。

- ボランティア登録数 90名（平成21年3月31日現在）

### オ 福岡ウェルカムカードの運営

外国人観光客の誘致並びにホスピタリティ向上を図るため、外国人が宿泊施設や観光施設等で割引を受けることができ、施設利用の際に役立つ指さし会話集を掲載した「福岡ウェルカムカード」を6万部発行した。

### カ 「博多町家」ふるさと館の管理運営

博多の伝統芸能・伝統工芸など博多文化の伝承の場である「博多町家」ふるさと館の管理運営を平成18年度から平成20年度まで指定管理者として実施した。

- 20年度入館者数 77,634人（対前年度比 97%）

### キ 新商品の開発

新たな商品の開発のため企画検討を行うとともに、「博多町家」ふるさと館のおみやげ処において、「博多よかとおはじき」（博多から）を販売した。

### ク 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営（新規）

観光土産品の適正な販売を目的として設立された同協議会の事務局を、平成21年1月1日に受託し、役員会等を実施した。

## 4 広報・宣伝

### (1) 国内外に向けた情報の発信

福岡の観光及びコンベンションに関する最新の情報を提供するため、ホームページの運営や広報誌「オーシャンズフクオカ」の発行などを行った。

- ア 広報誌「オーシャンズフクオカ」の発行  
賛助会員やコンベンション主催者等へ配布した。
  - 年4回発行
- イ 外国人向けPR  
在住外国人へFM放送（LOVE-FM）による観光情報を提供した。
  - 英語、フランス語、韓国語、中国語の4カ国語で放送
- ウ ホームページの運営  
最新の観光やコンベンションに関する情報を提供するとともに、ホームページのリニューアルを行った。

## 5 組織の総合力の強化

### (1) 賛助会員サービス

会員間相互や財団との情報交換、また会員の意見を事業運営に反映させるため交流会を実施したほか、福岡市で開催される会議・展示会などの情報を網羅した「コンベンションスケジュール」を作成し、提供した。

- ア 賛助会員交流会の開催  
19年度と同様に、第1部「講演会」、第2部「分科会」、第3部「交流会」の3部制とし、賛助会員との交流を行った。
- イ 賛助会員名簿の作成  
賛助会員名簿（2年に1回発行）を作成し、会員へ配付した。
- ウ 「コンベンションスケジュール」の作成  
主催団体等で開催予定のコンベンション（会議・展示会等）調査を行い「コンベンションスケジュール」として取りまとめ、ホームページに掲載した。
- エ 国内外調査団派遣事業（新規）  
先進地の情報を得るとともに、相互交流のきっかけづくりを行い、また、会員同士の交流の機会とするため実施した。平成20年度は、国内派遣事業として実施したもの。
  - 開催日 平成20年11月13日～11月15日
  - 視察先 北海道洞爺湖、札幌市
  - 内容 洞爺湖サミット会場視察  
札幌商工会議所会頭講演、札幌コンベンションセンター視察
  - 参加者 (財)福岡観光コンベンションビューロー会長外、全18名

### (2) 調査・企画

海外からの観光客などへのサービスの向上を図るために、ウェルカム・サポーター制度（再掲）を創設し、大型クルーズ船等において活用した。また、シンガポール NATAS 旅行博の調査とともに、姉妹協会であるシンガポール政府観光局及び関係者との協議を行った。

○会議の開催状況

会 議 名	日 時 ・ 場 所	内 容
平成20年 第2回評議員会	平成20年5月26日 グラント・ハイアット福岡	平成19年度事業報告 平成19年度収支決算 理事の選任
平成20年 第2回理事会	平成20年5月26日 グラント・ハイアット福岡	平成19年度事業報告 平成19年度収支決算 評議員の選任
平成21年 第1回評議員会	平成21年3月27日 ホテルニューオータニ博多	平成21年度事業計画案 平成21年度収支予算案 理事の選任
平成21年 第1回理事会	平成21年3月30日 ANAクラウンプラザホテル福岡	平成21年度事業計画案 平成21年度収支予算案 評議員の選任案 財団法人福岡観光コンベンションビュー ロー事務分掌規程等の一部改正案

○出捐金・賛助会費状況

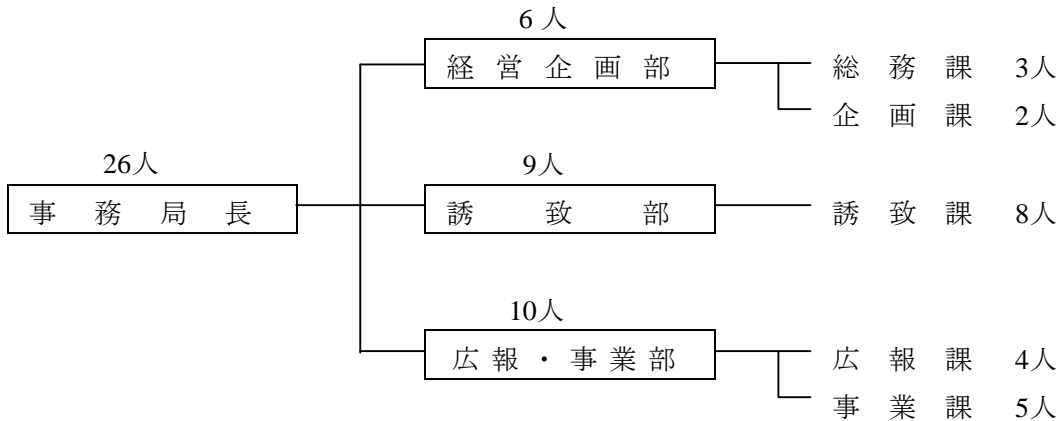
3月31日現在

出捐金	796,000 千円	61 団体・企業
賛助会費	29,005 千円	558 団体・企業

○事務局組織

3月31日現在

(1) 組織図



(2) 職員数

福岡市からの派遣	9人
民間企業からの派遣（各企業1名） 近畿日本ツーリスト、日本旅行、JTB九州、 トップツアー、福岡銀行、西日本鉄道、日本通運、 西日本シティ銀行、九州旅客鉄道、西鉄旅行	10人
固有職員	3人
嘱託職員	4人
計	26人

(参考) 事務局組織図

4月1日現在

